

2013年12月12日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報57号

スキミング被害の続発

キャッシュカードのスキミング被害が続発しています。

これまでに、レブロン地区の外資系銀行支店内ATMと、ガレオン国際空港の外資系銀行ATMにおいてカードの磁気情報を盗まれた疑いがあることが判明しています。

カードの偽造事件では、外国人名義のカードやブラジル国外で発行されたカードが標的にされる傾向が強くなっています。

日本で発行したキャッシュカードや外資系銀行のキャッシュカードは常に狙われていると認識し、以下を参考に被害防止に努めてください。

1. 危険性の高い場所

- ・ガレオン国際空港内のATM
- ・外資系銀行のATM（支店内設置のものを含む）
- ・ガソリンスタンドに併設されたコンビニ等のATM
- ・コパカバーナ、イパネマ等観光客が多い地区の路上、商業施設のATM

2. 危険性が高まる時期

- ・国際会議、国際的スポーツイベント、音楽イベント等の開催時期
- ・大晦日、カーニバル等の前後の時期

3. 予防策

- ・監視が行き届いた顧客専用コーナー等、安全性が高い場所を使用する。
- ・危険性が高い場所のATMを使用した場合は、直ちに暗証番号を変更する。
- ・国外から当地を訪れる場合は、ガレオン国際空港でATMを使用しない。タクシー代等、到着後すぐに現金が必要な場合は、米ドル等を持参して両替する。